かじき 広報

くも合戦

題字　宇都宮町長

人口・世帯の動き
（平成元年7月1日現在）

総人口23,819人（−24）	出生　23人
男　11,208人（−10）	死亡　18人
女　12,611人（−14）	転入　71人
世帯数 8,291　（−9）	転出 100人

●（　）内は前月との比較●

岩原の夏まつり

昔懐しいポン菓子や焼き鳥などの夜店が並ぶ岩原公園で七月二十九日、初めての〝夏まつり〟が行われ、おおぜいの地区民でにぎわいました。

これは、あすなろ会（中元邦利会長、会員二十人）結成二十周年を記念して、会員が手作りで開催したものです。

この日は、中元邦利さん手作りの〝ふれ太鼓〟が祭りの始まりをつげた後、スイカの早食い競争やビール早飲み大会などが行われました。

また、新原文雄さん（八三）や子供たちの歌や踊りも披露され、集まった地区民から盛んな拍手が沸いていました。

楽しい夏の一時は、おはら節の踊りで幕をとじました。

おおぜいの地区民でにぎわった岩原公園

平成元年
8
月号

今月のページ

▷"土と,技と,炎と"龍門司焼…2〜3ページ　▷参議選の結果,椋鳩十さんをしのんで…4ページ　▷カメラ・ルポ…5ページ　▷まちの話題"星に願いを"ほか…6〜7ページ　▷トク・トク情報"防ごう夏の事故"…8〜9ページ　▷/熱戦/スポーツニュース…10ページ　▷さつま狂句,竜門句会,薬草…11ページ　▷おしらせ…12ページ

●No. 418　発行 加治木町・編集 総務課 ☎ 62−2111●

龍門司焼

龍門司焼の歴史は、慶長三年、義弘公が陶工を連れて帰国したことに始まります。

伝統の技は、今も脈々と受けつがれています。

窯入れは……毎月行われる。

三時間余りマキをたく元窯は一、一〇〇度に達する。

龍門司焼年表

時代	年号	西暦	記事
安土桃山	慶長三	一五九八	朝鮮陶工 前ノ浜、島平、神ノ川、小湊に約七〇名上陸。
	四	九九	朴平意ら、串木野 島平に窯を築く。
	六	一六〇一	金海、帖佐に召さる。下芳仲、何芳珍、八日町に窯を築く？
	七	二	金海、星山仲次の名を許され、茶陶習得のため美濃妻木窯に赴く。
江戸	一一	六	金海、帰藩。帖佐宇都に窯を築く。
	一三	八	金海、御里に移窯。芳仲ら龍ノ口に移窯？
	元和六	二〇	金海、冷水に移窯。
	九	二三	苗代川の朴貞用ら、白さつま原土の藩内自給に成功。
	寛永八	三一	芳仲ら山元に移窯。芳仲は仲次郎の名を許さる。
	九	三二	芳仲、東衆中に加えられ、吉原に屋敷を頂く（吉原に移窯の説あり）。
	一三	三六	山田禅福寺の鐘に寄進者銘山田衆中と共に仲次郎の名あり。
	一四	三七	芳仲（仲次郎）歿。（八五歳）
	二〇	四三	何三官（芳珍・長男）苗代川の庄屋となる。
	慶安四	五一	喜兵衛（芳珍・次男）、小右衛門（喜兵衛・長男）と田之浦で瓦を焼く。
	承応三	五四	加治木領主島津忠朗、小右衛門を芳仲の陶嗣と定む。
	寛文一	六一	小野元立、肥前陶工 北村傳衛門を中心に元立院窯（西餅田）を創む。
	七	六七	小右衛門山元に帰り、忠朗の庇護を受け、山元窯を再興、山元碗右衛門の名を許される。
	延宝一	七三	碗右衛門、湯之谷に移窯。領主の庇護を離れる。
	元禄二	八八	高崎の松尾坂に白石を発見、与一衛門の協力で高崎に移窯。
	八	八九	高崎窯湿気多く、高所に移窯（現在の遺窯）。領主久薫の庇護再開。
		九五	元立院窯より小野安左衛門、波多野伝左衛門移り来る。
	享保一〇	二五	初代碗右衛門歿。（九三歳）
	寛保一	四一	二代碗右衛門（山元小十）、三代碗右衛門（山元伊兵衛）歿。
	延享三	四六	五代小野元立、西餅田の窯を廃し龍門司に移る。
	寛延三	五〇	川原藤兵衛（福山郷士、芳上の父）歿。（七一歳）
	宝歴二	一七五二	彌五郎（十左衛門・長男）出生（川原彌五郎種春、芳寿、後口器遊斉）
	明和五	六八	川原十左衛門種甫（藤兵衛・次男）四二歳で竪野冷水窯 河野仙右衛門に師事し、陶技を習う。
	九	七二	十左衛門分家独立し、重豪公の知遇を得る。芳工と号す。
	安永三	七四	芳工、一勝地焼城本窯を指導する。
	八	七九	芳工、彌五郎を伴い肥前（三川内、武雄）に陶業視察旅行す。
	天明六	八六	芳工、平戸藩三川内の陶工彌木休右衛門、絵師大山武左衛門、大山仁右衛門を招き、彌勒皿山窯を創め、染付磁器で焼く。
	寛政五	九三	芳工、冷水窯の星山仲兵衛と共に肥前・筑前・備前・京都・尾張・伊勢の陶業視察に赴く。
			京都錦光山喜兵衛の許で色絵を習い、翌年帰藩。
	六	九四	芳工帰藩後花倉に築窯。このころ彌勒皿山窯廃窯。彌五郎は龍門司に帰る。
	一〇	九八	芳工、花倉で歿す（七二歳）。法名陶仙成功居士。扶蔵院墓地に葬。
	文化一〇	一八一三	四代碗右衛門歿。（七九歳）山元家断ゆ。
			（初代碗右衛門の次男喜兵衛の長男小兵衛は隈元姓を名のり長く続く。
	天保一二	四一	芳寿歿。（九〇歳）

正徳五年（一七一五）従事者
山元碗右衛門、犬童七左衛門、川原藤兵衛、小野仁右衛門、小野安左衛門、竹下慶兵衛、溝口加納右衛門、山元権左衛門、波多野伝左衛門
川原四郎右衛門、次兵衛

土と技と炎と

窯出しの日　中はまだやけるように熱い

ここをしっかり焼かないと「一、二三〇度」炎との闘い

出来ばえは……一か月の苦労が実った。

時代	年号	西暦	記事
江戸			龍門司焼在銘品 芳工（川原十左衛門種甫）　明和―寛永年間に製作 芳寿（川原彌五郎種春）　安永―安政　〃 芳林（川原藤兵衛）　寛政―文化　〃 芳平（川原平兵衛種饒）　文化―文政　〃 芳右（川原　衛種則）　天保―安政　〃 芳光（川原源助種文）　嘉永―明治　〃 芳尊、芳衛、龍芳（不明） 芳工才（隈元才之丞）　明治 芳次（川原次郎太）　明治―昭和初期
	安政五	一八五八	諸国への持ち出し解禁さる。
	万延一	六〇	犬童小之進　苗代川南京窯より白欣円外陶工二名を招き、日木山皿山窯を創め染付白磁を焼く。
	文久二	六二	日木山皿山窯平佐・落合文左衛門の指導で新窯を築き陶工二名、絵師二名を招き請細工とする。
明治	明治七	七四	犬童英輔、明治四年より日木山窯を引き継いだが、経営不振で廃業す。
	一四	八一	京都陶工青木宗兵衛、田之浦窯（明治三年）、大島大和浜窯（明治八年）を経て龍門司に移る。
	二〇	八七	小野新助（芳光・弟）、青木宗兵衛と共に小野窯を創める。
	二二	八九	東組窯を新設、旧窯は西組窯とする。 西　組　湯川佐太郎、湯川彌次郎、川原精治、川原八次郎、川原三次郎、隈元才之丞、田島与之助、海老原半蔵 東　組　川原嘉市、川原林太郎、築瀬精之進、猪俣吉次郎、猪俣四郎太、猪俣四郎助、川原喜之助、川辺与兵衛
	三三	一九〇〇	「高麗神様（これがんさあ）」を改称
	三八	五	小野窯廃窯する。 青木宗兵衛歿。（七九歳）　墓碑銘　青沖庄兵
大正	大正初期		大正初期 西　組　川原次郎太、川原平之丞、湯川郷一、川原三次郎、川原宗一 東　組　猪俣與一郎、猪俣與助、猪俣初市、隈元宗次
昭和	昭和一八	四三	企業整備令により薩摩陶器㈱に合併さる。 西　組　川原軍次、湯川郷一、平田清一 東　組　猪俣初市
	二〇	四五	薩摩陶器㈱より脱退
	二三	四八	龍門司焼協同組合設立（小山田五九四五番地に工場を開く。） 鬼塚兵輔、川原軍次、川原光、川原弘雄、猪俣義範、川原則秀、湯川秋雄
	二五	五〇	龍門司焼企業組合に改組。
	三〇	五五	新窯を築く。（現在地）
	三九	六四	旧窯を県重要文化財、川原軍次（龍門司焼三彩）を県無形文化財に指定。 昭和四〇年　川原軍次、川原光、川原弘雄、猪俣義範、川原則秀（四六年一一月死亡） 薗田正春、川原輝夫 昭和五六年　川原軍次（六二年三月退職）、川原光（五七年三月退職）、川原弘雄 猪俣義範（六三年一月死亡）薗田正春（五七年七月退職）、川原輝夫、 川原史郎、猪俣謙二
平成			現　在 川原弘雄、川原輝夫、川原史郎、猪俣謙二

参議選

投票率は70.89%

旧鎮守小学校がトップ

任期満了に伴う参議院議員選挙が七月二十三日行われ、加治木町の投票率は七〇・八九パーセントで、前回（昭和六十一年衆・参同日選挙）を一パーセント下回りました。

投票率を男女別に見ると、男性が七〇・二八パーセント（前回―七一・〇一パーセント）、女性は七一・四一パーセント（前回―七二・六三パーセント）で、女性が男性をわずかに上回っています。

また、投票所別に見ると、旧鎮守小学校が七九・三四パーセントで最も高く、次いでヒナバ公民館、町営体育館の順となっています。

男性の投票率が最も高かったのは旧鎮守小学校の八四・六八パーセント、女性では町営体育館の七八・二〇パーセントがトップになっています。

開票結果は、次のとおりです。

（得票順・敬称略）

■…鹿児島選挙区選挙

久保　亘	六、四九八
かまだ　要人	四、五三七
げじま　奉文	四七五
太佐　順	三三三

体育館で行われた開票

▼比例代表選挙（得票順）

政党等名	得票数
日本社会党	5,178
自由民主党	3,383
公明党	730
日本共産党	408
民社党	295
スポーツ平和党	263
年金党	208
第二院クラブ	185
進歩党	147
サラリーマン新党	103
税金党	100
福祉党	77
太陽の会	52
新自由クラブ	42
老人福祉党	42
ちきゅうクラブ	38
国会議員を半分に減らす会	32
新政クラブ	30
人間党	19
新自由党	18
原発いらない人びと	18
みどりといのちのネットワーク	16
社会主義労働者党	13
大行社政治連盟	10
UFO党	10
緑の党	10
政事公団太平会	10
全婦会救国党ミニ政党悪税消費税反対大連合	9
日本世直し党	9
MPD・平和と民主運動	8
教育党	8
雑民党	6
環境党	5
日本国民権利擁護連盟	4
主権在民党	3
エイズ根絶性病撲滅国民運動太陽新党	2
日本青年社	2
道州制推進会議	1
世界浄霊会	0
大日本誠流社	0

椋鳩十さんをしのんで〈第8回〉

茨城大学名誉教授
解釈学会会長
山口　正

前回分の下書きを見て、祈念として「夢よ、もう一度」と書いたときのことを思い出しました。祈念などと言っては言い過ぎだな、夢よもう一度、などというのは、これも誤解を招きそうな言い方だな、と思ったことを、後悔したのです。

実は、東京での講座では主に万葉集と「奥の細道」なのですが、時々読書のことや文章表現特に手紙文のことを語ります。文集をこしらえて、年一回の講義のしめくくりに役立てています。世話人が交代で文集づくりをしてくださるので、私も喜んで、講義内容とは直結させないのを書いています。

文集と同封で送られてきた手紙や、また、談話や電話でのやりとりのことを思い出し、反省の文を書く気になりました。

文集に作品を出している人は全体の約半数で、毎号のように書いている人は、そのまた半数。それでもいい作品があると、本人の了解を得た上で、私のエッセイや他の講座での例文として取り上げています。自分の勉強にもなるし、楽しみにしていますが、そこに落し穴があったのです。正直に申しましょう。

世話人の忌憚ない感想が、おわびを兼ねての手紙文の内容でした。「先生に教えられて、電話もいいが三度に一度ははがきで、ということを実行しています。文章作りの楽しみも味わっていますので、本当は申し上げにくいのですが、作文の先生に見られる文なんて書けそうもない、といって拒否反応を示す人もあるのです。そんな人でも先生の脱線話には心ひかれる思いだと言っていますから、今まで通りに、どうぞ」とのこと。

読書運動のことなど程々にしようと思います。ところで、先日上京中で御多忙の町長さんにお会いでき、うれしいお話を承りました。記念館は立派に出来ます、と具体的に説明していただいたこと、そして、今一つは広報紙「かじき」の椋鳩十先生を偲ぶ文は連載を続けてくださいい、反応は幾つかあるのですからとのこと。暫くは続けます。

カメラ・ルポ

『投票に行きましょう』

明るい選挙推進協議会

参議院議員選挙を間近かに控えた七月二十一日、明るい選挙推進協議会（嶺元政範会長）では、棄権防止を呼びかけるチラシを街頭で配布しました。

この日は、嶺元会長をはじめ篠崎秋明さんや寺迫慶子さんなど会員八人が、蒲生田通りや新生町の商店の前など四か所で、買い物客や道行く人たちに「投票に行きましょう」とチラシを手渡し棄権防止を訴えました。

棄権防止を呼びかけ

『子育てはタイミングが大切です』

町ＰＴＡ母親研修会

〝これでいいのかしら「私の子育て」〟をテーマに、子供たちが健全でたくましく育つには母親としてどう接していったらよいのか、を語り合おうと町ＰＴＡ母親研修会が六月三十日、福祉センターで行われました。

研修会には、幼稚園から高校までの子供を持つ母親四百人余りが参加。三つの分教会に分かれ、「自主性や協調性、思いやりを育てるためには、母親としてどうしたらいいのか」と、熱心な討議が行われました。

また、研修会では西姶良小学校の鈴麗子先生が『子育てについての母親の役割』と題して、「子育てやしつけ、教育はタイミング（適時期）が大切です。

子供の成長には個人差がありいつ、どんな所で才能が発揮されるかわかりません。たとえ兄弟でも比較せず、子供の心を見てタイミングよく教えることが必要なのです。子供たちにとって〝人生の最初の先生は、お母さん〟であり、それはだれも勝てないのです」などと講演すると、お母さん方は熱心にメモをとっていました。

“私の子育て”を発表

五万匹のマダイの稚魚を放流

錦海漁協

〝錦江湾をマダイの豊庫にしよう……〟錦海漁協（松田繁美組合長）では七月二十四日、姶良町の松原沖に五万匹のマダイの稚魚を放流しました。

これは、県栽培漁業協会が県内二十四か所で行っている「広域栽培パイロット事業」の一つとして実施したものです。

この日は、松田組合長や組合員十人余りが、体長七㌢の稚魚を「大きくなれヨ」と願いを込めて次々に放流しました。

一年で十七～二十㌢にも成長するそうです。楽しみですネ。

大きくなるのが楽しみです

「必ず止まって確認を」

交通安全母親指導者研修会

〝自転車やミニ・バイクの正しい乗り方を学ぼう〟と交通安全母親指導者研修会が七月二十五日、役場グラウンドで開催され、九十一人が参加しました。

研修会では、加治木警察署員や二輪車普及協会の山元さんから「〝止まれ〟の標識のある所では、必ず止まって左右を確認しましょう」「乗る前には、ブレーキやライトなどの点検を…」などと指導を受けた後、参加者はグラウンドに設けられたコースで実際に練習していました。

交差点でも必ず止まって

●身近かな話題やニュースは文書係まで（☎62—2111）

TOWN NEWS ●まちの話題

星に願いを☆☆☆

〝天の川の両岸にある牽牛星と織女星とが年に一度会える日〟といわれる七月七日、竜門小学校では地域のかたがたや小山田保育所の園児らを招いて、七夕まつりが盛大に開催されました。

棒踊りを披露

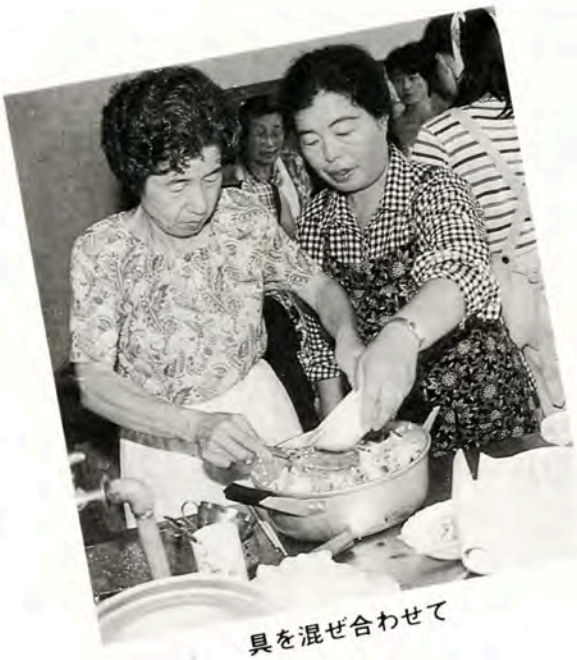
地区民を招いて竜門小で七夕まつり

「ゆめを大きくもつ」「すくすく育つ小山田の子」などと書かれた五色の短冊がゆれる体育館で行われた七夕まつりでは、みんなで願いを込めて〝七夕の歌〟を合唱した後、米沢アキエさん(八一)と宮脇信男さん(七〇)から、昔の子供の生活や、七夕の由来などについての話しをを聞きました。

また、鹿児島市在住のフランス人・フランソワさんの日本舞踊「松の緑」や、山口裕二くんや前田愛子さんら西浦地区の子供たちによる勇壮な〝棒踊り〟などが披露され、盛んな拍手が沸いていました。

フランソワさんの日本舞踊

『作るのも、食べるのも初めて』


具を混ぜ合わせて

〝ふるさとの味、おふくろの味を季節の中で生かしてゆこう〟と今年も「郷土料理教室」が、七月二十一日から福祉センターで始まりました。

これは、私たちの祖父母や父母が食べてきた鹿児島の郷土料理の中から十九の料理を選び、若いお母さん方にその調理法などを伝承していこうと、十四年前から開催されているものです。

教室には、県外出身者八人を含む三十二人が参加。参加の動機は「子供たちに何か残してやりたい」「お嫁さんに教えられるよう、ちゃんと作れるようになりたい」などさまざま……。永田フジさん（柳田）と小川文子さん（岩原西）の指導で『作るのも、食べるのも初めて』の料理に挑戦しました。

十四年目を迎えた郷土料理教室

第一回目の献立は「さつまおすもじ」「えばざこの南蛮漬」「ふくれ菓子」の三品。「ふくれ菓子は、湯気が良く通るようになべの底にお箸を数本入れて、その上にタネを置くのがコツ」などと永田フジさんが秘伝を伝授しました。

また、試食会では、松尾亜衣ちゃん(三歳)も「おいしい、おいしい」と舌鼓を打っていました。

おいしいネ

〝ひとみを輝かせて〟

人形劇団「ピノキオ」が夏休み公演

人形劇に見入る

ママさん人形劇団『ピノキオ』（日高栄子代表、会員七人）による〝夏休み公演〟が七月十九日、町立図書館で開催され、集まった八十人余りの子供たちは、ひとみを輝かせて、一つ一つの人形の動きに見入っていました。

今回の人形劇は、すてきなカバンがいっぱい出てくる「ピョンピョンパンのカバン」と「一休み」の二つ。今年四月から会員になった久富美津子さんや杉山信子さん、針原鈴子さんらは、汗だくになりながら人形を動かしていました。

会員の安浦さんは「せりふに合わせた動作を人形にさせるのが難しいですね」と話されました。

次回は十二月。〝クリスマス公演〟が楽しみですネ。

汗だくで人形をあやつる

『おいしく炊けました』

飯ごう炊飯を体験 育成者のつどい

煙が目にしみる

キャンプ活動の進め方などを学ぶ「夏の青少年を育てる育成者のつどい」が七月二日、加治木小学校で行われ、飯ごう炊飯に初挑戦したお母さん方は、煙に悩まされながらも「おいしく炊けましたヨ」と満足気でした。

これは〝各子ども会でもキャンプ活動を取り組んでもらおう〟と町子ども会育成連絡協議会が、育成者六十人余りを集めて開催したものです。

参加者は、飯ごう炊飯やキャンプテントの張り方などを熱心に研修していました。

ちょっと小耳に

後藤由香さんが「ふるさと電話」に 九月四日から十日まで登場

学校や町の自慢、伝統行事等を中学生が紹介する「ふるさと電話」（☎〇九九二―二三―一〇〇〇）に九月四日から十日まで、加治木中学校三年・後藤由香さん（吉原）が登場します。〔鹿児島三越提供〕

「将来はアナウンサーに…」と話す後藤さん。収録は八月二日、加治木中学校で行われました。

「ふるさと電話」は、全国どこからでもダイヤルできます。

後藤さんのはつらつとした紹介に、耳をかたむけて見ませんか。

トク・トク情報

増える交通事故
少年非行は減少傾向

死亡事故は七件発生
加治木警察署管内

加治木警察署が三月に公表した「交通事故、犯罪のあらまし」をみると、加治木警察署管内における昭和六十三年中の交通事故は、発生件数四百三十六件、死者七人、傷者五百五人で、それぞれ前年より増加しています。

また、昭和六十三年中に検挙・補導された刑法犯少年は百四十二人で、前年に比べ二・一パーセント減少しています。

夏休み――。子供たちの事故や非行も起こりやすい季節です。みんなで注意したいものですね。

〈交通事故〉加治木町では百四十九件発生

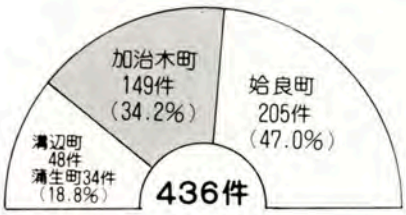
町別の交通事故発生状況をみると、加治木町では百四十九件の事故が発生しており、前年に比較すると二十一件増加しています。

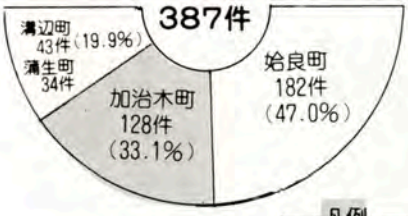
このうち、死亡事故は一件発生しており、また、姶良町で四件、蒲生町・溝辺町でそれぞれ一件発生しています。

加治木町の事故を月別にみると七月と九月、十二月、一月がそれぞれ十五件と最も多く、次いで十月（十四件）、三月と十一月（十三件）の順となっています。

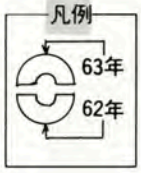
交通事故の原因としては、前方不注視・安全不確認などの安全運転義務違反が半数以上を占めており、また、歩行者側に原因のある事故も発生しています。

▼町別の交通事故発生状況





▶加治木警察署管内は…
加治木町，姶良町
溝辺町，蒲生町



〈少年非行〉中・高校生の初発型の非行が多い

加治木警察署管内で検挙、補導された刑法犯少年の内訳をみると犯罪少年（罪を犯した十四歳以上二十歳未満の少年）が百十四人、触法少年（刑罪法令に触れる行為をした十四歳に満たない少年）が二十八人となっています。

刑法犯少年を年齢別にみると、十三歳から十五歳までの少年が九十三人（六五パーセント）と最も多く、非行歴をみると八一・七パーセントの百十六人が初犯で、低年齢化、初発型非行が多いことが特徴としてあげられます。

刑法犯少年百四十二人を居住地別にみると、加治木町が最も多く（五十五人）、次いで姶良町の順となっています。

また、月別にみると十二月、四月、七月の順に多発しています。

ふだんから家庭における注意が必要だといえます。

▼刑法犯少年の居住地別状況

（単位：人）

町別	63年	62年
加治木町	55(25)	52(18)
姶良町	33(5)	49(5)
蒲生町	7(0)	8(0)
溝辺町	11(5)	9(4)
他市町村	36(9)	27(4)
計	142(44)	145(31)

（ ）内は女子で内数。

非行防止の10ポイント

▼親子の対話を忘れない。（笑いのある家庭づくりを）
▼子供を放任しない。（子育ての責任の自覚を）
▼親の権威を失わない。（しつけに自信を…父親の厳しさを……）
▼子供に善悪のけじめをつけさせることを忘れない。（家庭は最も身近かな社会）
▼一貫したしつけ、教育方針を持つ。（子は親を写す鏡である）
▼小さい時から、しつけることを怠らない。（三つ子の魂、百までも）
▼二つしかったら、三つほめるよう心がける。（子供にいつも希望とやる気を）
▼子供を甘かさない。（つらさに耐えさせ、たくましい子に）
▼子供に過度の期待をかけず適切な目標と進路を持たせる。（のばそう子供の自主性と自立心を）
▼ポルノ雑誌等を家庭に持ち込まないようにする。（健全な家庭環境を）

防ごう

夏の事故

夏の風物詩

花火による火災を防ごう

夏の夜、庭先などで楽しむ花火は、日本の代表的な風物詩の一つです。

線香花火などは、かわいらしい花火として、幼いころの思い出になっている方も多いでしょう。

しかし、このような「おもちゃ花火」も、原料は火薬です。正しい取り扱いをしないと火災やけどの原因となります。

昭和六十二年中に花火が原因である火災は、全国で三百九十二件発生しています。（消防庁調べ）

どんなにきれいなものであっても、花火は〝火〟なのです。

始める前に、次のようなことに注意しましょう。

注意書きを必ず読もう

安全検査に合格した花火には、「SFマーク」がついています。

注意書きにあるとおりに花火を楽しむことが大切です。

安全な場所を選ぼう

最近、目覚ましいハイテク技術の発達は、花火の分野にまで及んでいます。法の定める火薬の範囲内であっても、ずいぶんと高くまで上がる花火や、勢いよく火の粉を散らしながら、地上を走り回る花火もあります。

こうした火の粉が周囲の紙くずなどに燃え移って、火災となる場合が多くみられます。

花火をするときは、次のような場所を選びましょう。

▼周囲に燃えやすい物がない

▼建物から離れていること

子供だけで遊ばせない

子供だけで遊んでいると、万一のとき、適切な消火作業ができなくなり、大きな火災となる恐れがあります。

また、夢中になって花火に近づきすぎてやけどしたりする恐れもあります。

必ず、大人が付き添うようにしましょう。

気象状況を考えよう

次のようなときは、花火をやめましょう。

▼火災警報が出されているとき

▼強風注意報や乾燥注意報などが出されているとき

▼その他〝風が強い〟と感じられるとき

花火をほぐしたり、まとめて点火することはやめよう

火薬をほぐして集めたり、数本まとめて点火した場合、火薬が一度に燃え、ときには爆発することもあるので非常に危険です。

花火は、そのままの形で一本ずつ火をつけましょう。

必ず水の入ったバケツを用意しよう

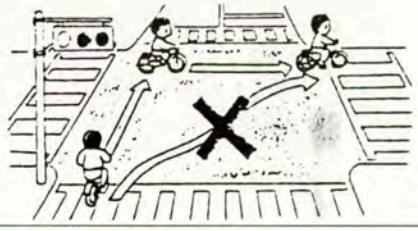
花火の燃えがらは、必ず水につけるようにしましょう。

火が残っているかもしれません。

また、点火に使ったマッチの燃えかすなど、一度火のついたものは、必ず水の中に入れて、完全に消火しましょう。

自転車事故を防ぐために

信号機のある交差点では，下のように分けて右折します。



熱戦スポーツニュース

一斉にスタート

7人が新記録を樹立

町内小学校水泳記録会

町内小学校水泳記録会は七月二十四日、加治木中学校のプールで開催され、七人が五種目で八つの新記録を樹立しました。

この日は、お父さん・お母さんや友だちの声援を背に、二十五㍍バタフライや五十㍍自由型など二十九の種目が行われ、子供たちは日ごろの練習の成果を発揮し、記録に挑戦していました。

新記録は、次のとおりです。

（敬称略）

▽五年生男子五十㍍自由型
川田　浩之（柁城小学校）36秒6
▽六年生男子五十㍍自由型
羽生　哲也（錦江小学校）32秒9
▽五年生女子二十五㍍バタフライ
荒木　真緒（錦江小学校）20秒2
東　由希（柁城小学校）23秒6
本村　香織（加治木小学校）24秒1
▽六年生女子二十五㍍バタフライ
戎　博子（錦江小学校）20秒8
折口　智美（柁城小学校）20秒9
▽五年生男子五十㍍背泳
川田　浩之（柁城小学校）44秒7

力いっぱい水をかいて

小学生の部は「警精館A」

町内剣道錬成大会

日ごろ鍛えた技を競い合う町内剣道錬成大会が七月九日、町営体育館で開催され、小学生の部では警精館Aチームが優勝しました。

大会には、小学生の部十チーム、中学生の部十一チーム、高校生の部六チームの二十七チームが参加し、熱戦を展開しました。

結果は、次のとおりです。

■小学生の部□優勝…警精館A
二位…柁城剣道スポーツ少年団A
三位…加治木剣道スポーツ少年団A、警精館C
■中学生の部□優勝…加治木中F
二位…加治木中C
三位…加治木中D
■高校生の部□優勝…加治木工業A▽二位…加治木工業C▽三位…加治木工業B、加治木高校A

気合い鋭どく

「九州電力」が優勝

夏季ナイターバレーボール大会

夏季ナイターバレーボール大会は、六月二十六日から七月四日まで町営体育館で開催され、九チームが熱戦を展開しました。

結果は、次のとおりです。

▽優勝…九州電力
▽二位…さくら
▽三位…加治木産業、水無月

真夏の夜，熱戦が

Aクラス 南州石灰 Bクラス 合庁クラブ が優勝

夏季ナイターソフトボール大会

夏季ナイターソフトボール大会は、Aクラス四チーム、Bクラス七チームが参加して、六月一日から町営運動場で開催されました。

最終戦は七月六日行われ、Aクラスでは〝南州石灰〟が柳田孝一さんと扇薗弘行さんのホームランなどで八対一と〝セントラル〟を破り、また、Bクラスでは〝合庁クラブ〟が十一対〇と〝TAIHO〟を圧倒、優勝の栄冠に輝きました。

ホームランで追加点

畠中武志さんがホールイン・ワン

福祉グラウンド・ゴルフ大会

〝スポーツを通じて、身障者のかたがたと交流を深めよう〟と、福祉グラウンド・ゴルフ大会が七月二十六日、十二チームが参加して町営運動場で行われました。

大会では、畠中武志さんが七番でホールイン・ワンを決めると拍手が沸くなど、参加者は和気あいあいと競技を楽しんでいました。

結果は、次のとおりです。

■団体の部□**優勝**…下新道B▽二位…竜門西元A▽三位…下新道A

■個人の部□**優勝**…長重住義▽二位…堀切利男▽三位…上園一夫

■ホールイン・ワン□畠中　武志、鈴木　美幸

はいれヨー

きーつーま狂句

▼兼題『下　手』（へた）　榊、牛尾先生　選

天　朝帰い　妻も笑るちょい　下手な嘘　**原口小烏**

唱　貴方がた　年中そげな事じゃが

地　夏季研修　下手な講義い　舟を漕つ　**永吉竹林**

唱　稀けな　鮮くかっともおんど

人　爺の説教　信念があっ　**鮫島四男坊**

唱　口下手言どん　我が体験で　得た物言で

▼席題『晩』（ばん）　榊　牛尾先生　選

天　寝苦しせ　夢かあ夢で　夜が明けっ　**薬丸照女**

唱　夢で語った　昔の彼氏

地　晩飯の　茶碗な横い　舟を漕つ　**鳥居桔梗**

唱　昼の仕事で　すったい疲れて

人　夜の入いも　け忘れさすい　田植時期　**満尾仙女**

唱　寝いも起きいも　お日さあ相手

（社会教育学級生の作品を紹介します。）

薬草知られざる効き目 71

ノカンゾウ

本州、四国、九州の山野のやや湿った溝の縁や草地に自生しているユリ科の多年草。仲間に六～七月に咲くヤブカンゾウやハマカンゾウなどがあり、ノカンゾウは八月末から九月いっぱいに咲きます。

いずれも忘草＝萱草といって憂いを忘れさせる草だという信仰は古い中国に始まり、万葉の歌人もこよなく親しんでいたようです。

大伴家持の歌（巻冊七二七）

忘草わが下紐に着けたれど
　醜の醜草言にしありけり

とあり、

恋の苦しみ忘るると

恋の激しさは忘れることはできない、と忘草への不信を表明しています。

ノカンゾウの類は、学名ヘメロカリス、英名デイ・リリーと言い、一日花の意なのです。このつぼみをおひたしやてんぷらにして食べると、のどもとを通るとき、得も言われぬ味がします。万葉人は心で詠み、現代人は味覚で勝負します。

つぼみを日干しにしたのが「金針菜」で、料理に使い、煎服すると解熱の効があります。

根の日干しを煎服すると利尿の効あり、生根をつき砕きはれものに厚くはります。

ノカンゾウの花一輪、茶花として絶品であります。

萱草

咲きたる畦の
　露深し　草日居

人の言うなる忘草
わが下紐に着けたれど
何の甲斐なきあだ草よ
その名は言葉のあやのみぞ
坂之上之大嬢に贈ったもので、

（薬草研究家　上萩大治）

▼無断転載は、御遠慮下さい。

竜門句会

父の日の父訥々と電話口　古江　重美

蒸き替へし萱厚々と山法師　竹山　洋子

木洩日に鳥語あふるる滝の径　神村　洋子

病気見舞ひとつ果して冷奴　鶴田　耕

一輪車漕ぐ少年や樟若葉　加藤　白柳

百態の雲遊ばせて椎の花　内田美津代

父と子へ夏来たりけり魚籠と竿　白尾　澄子

あじさいに雨意ある雲の低くたれ　佐々木かすみ

引詰髪パートには無き夏期手当　川崎　黒兎

子と親の視線揃ふや蜘蛛合戦　柳田　稔

広き田を田植機一つ植え進む　高木　正男

亡母を呼び魂離れゆく梅雨の朝　恒吉　斗南

毎月15日は『防火の日』

海上保安大学校の海上保安学校学生を募集

海上保安大学校・海上保安学校の学生を募集しています。

■**受験資格**□昭和四十一年四月二日（大学校学生は四十四年四月二日）以降に生まれた者で、次に掲げるもの。

(1)高等学校を卒業した者及び平成二年三月までに高等学校を卒業する見込みの者

(2)高等専門学校の第三学年の課程を修了した者及び平成二年三月までに高等専門学校の第三学年の課程を修了する見込みの者

(3)その他大学入学資格検定に合格した者など人事院が(1)に掲げる者と同等の資格があると認める者

■**採用予定者**□

(1)大学校学生＝約五十名

(2)学校学生＝水路…約十五名▽灯台…約三十五名▽通信…約十五名▽航海・機関・主計…約八十五名

■**試験日**□

(1)大学校学生

一次…11月11日(土)及び12日(日)

学科、教養試験

二次…平成2年1月8日(月)

作文、人物試験ほか

(2)学校学生　一次…11月12日(日)

教養、学科、作文試験

二次…平成2年1月8日、9日

（第一次試験合格通知書で指定する日）

人物試験、身体検査ほか

■**試験地**□鹿児島市

■**受付期間**□9月7日～9月20日

■**問い合わせ先**□溝辺町麓276－2

第十管区海上保安本部

鹿児島航空基地☎五八－二五四一

譲って下さい　おもちゃ図書館を作りましょう

あなたの家庭で不用になったおもちゃや、手作りのおもちゃなどを譲って下さい――。

町愛護会では〝福祉センターに『おもちゃ図書館』を作ろう〟と準備を進めています。

おもちゃ図書館は、乳幼児や心身に障害を持った子供たちに無料でおもちゃを貸し出したり、遊ばせたりすることにより、心身の発達を促進すると共に、親同志の交流の場としても活用されます。

▼〝おもちゃ〟は……

町福祉センター内

社会福祉協議会事務局へ

（☎63－2080）

坂元重子さんが手作りの人形を寄贈

御寄付

香典返しのかわりに御寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに、故人のごめい福をお祈りいたします。（）内は故人。

◆町社会福祉協議会へ◆

五万円　蒲生田(2)　今村喜代（夫　千秋七七）

三万円　隈原下　東　トミ（夫　静馬七七）

二万円　長　谷　松葉瀬　優（母　スエ八三）

一万円　東塩入　前原チカ（四男　裕稔五八）

二万円　口ノ町　小山温司（義母　植木クサ　八三）

四万円　宮田ケ平　坂元タメ（父　静九〇）

三万円　西ノ原　吉村ユウ子（夫　政則四一）

三万円　隈原下　西村ハツエ（夫　武彦八一）

三万円　萩　原　中森春志（父　池田寛次　七八）

三万円　迫　下　堂崎　厳（母　エタ八九）

一万円　新　町　常盤　栄（母　ヤエ八三）

三万円　南塩入　河野フヂ子（夫　盛雄七二）

三万円　内原田　大橋　晃（父　上平田　勉　五九）

三万円　吉　原　古川　操（妻　和子四五）

三万円　楠　園　宇都和代（母　岩尾テル　六九）

五万円　市来原　内村シナ（夫　榮一　八八）

五万円　上木田　汰木涼子（夫　孝一　三九）

二万円　中福良東　湊　享一（母フヂエ八〇）

◆町身体障害者福祉協議会へ◆

二万円　於　里　奥ヤエ（妹　マツエ七〇）

◆町老人クラブ連合会へ◆

二万円　隈原下　西村ハツエ（夫　武彦八一）

◆町育英奨学資金へ◆

一万円　長　谷　松葉瀬　優（母　スエ八三）

▽七月二十日までの御寄付を掲載いたしました。（年齢は満年齢）

記事訂正とおわび

七月号の〝議会報告〟の記事中「宮路芳彦さん」を誤って「宮路義彦さん」とお知らせしました。深くおわびし、訂正いたします。

うぶ声

出生児	保護者	自治会
松元　綾子	孝行	赤　坂
松元　公平	達也	蔵王団地
宇都宮咲乃	通信	空港団地
中原　友里	勝広	岩原西
越迫　広樹	祐蔵	竹　下
下小牧昌子	政広	須　崎
吉田　愛	亘	高井田
鷺　さゆり	成歳	東諏訪
脇田　陽子	隆	豊　町
木藤　崇	勝美	春日団地
加藤　亮	建	新　中
桐山　智帆	峰雄	蔵王団地
溝口　浩平	俊美	下　浜
石原　誠己	博和	上木田
坂元　宏輝	博良	浜　村

▽七月二十日までに住民票に記載された分を掲載いたしました。

特別寄付

＝町育英奨学資金へ＝

五万円　脇元　実雄

隼人町松永三田坪四一七